



いばコミ

平成 27 年 11 月発行 第 15 号

国臨協関信支部茨城地区会

発行責任者 児玉 徳志 (霞ヶ浦)

編 集 松本 善信 (霞ヶ浦)

谷岡 健作 (水戸)

茨城地区会コミュニケーション

第 43 回国臨協関信支部学会 茨城地区会ポスター紹介

第43回国臨協関信支部学会茨城地区会

霞ヶ浦医療センター 研究検査科



土浦市特産品：梨

地区会活動

平成27年6月6日に第35回茨城地区会定期総会、第2回国臨協関信支部主催・茨城地区会共催研修会が行われました。研修会は、日立製作所日立総合病院の赤津先生をはじめ、3名の先生に講義をしていただきました。研修会後は、懇親会を行いました。



茨城の花：ひばり



茨城東病院 臨床検査科



東海村特産品：(は)しいも

東海村マスコットキャラクター：イモ



霞ヶ浦医療センターは今年4月より茨城大学附属病院・土浦市地域臨床検査センターと医師の増員などにより名称が変更されました。茨城大学と連携が強化され、新しい診療科が設立され地域医療支援病院として地域医療に対する診療体制が充実・向上されています。また、様々な専門外来(子宮頸癌検診、甲狀腺、ヘルニア、泌尿器科など)が充実し、外来患者数は年々増加しています。研究検査科は月に1名増員となり、検査科長(病理医)、臨床検査技師13名、検査助手4名で日々業務を行っています。時内外検査は検査士(パート)体制となっていますが、毎週土曜日は当直体制で緊急検査を行っています。また、各部署間の連携を取り、アップアップ体制の強化に取り組む、より良い仕事を果たすべく日々努力しています。各個人は、各研修会や勉強会に積極的に参加し、情報を取り入れ、検査科や病院全体に反映できるよう頑張っています。



土浦市マスコットキャラクター：フスマ

茨城県のレンコン生産量は、日本一です。



茨城県マスコットキャラクター：ハスル黄門

修行してパワーアップしました！



茨城県マスコットキャラクター：スーパーハスル黄門

水戸医療センター 臨床検査科



茨城県マスコットキャラクター：ひめりん



茨城町特産品：メロン



水戸医療センターは紹介患者と救急患者の診療に重点を置く地域医療支援病院です。検査科については、検査センターにて第三次救急医療検査センターとして診療を行い、茨城県のセンターとしての役割を担って活動しています。また、平成25年11月より、茨城県の災害医療支援病院に指定されました。災害時には診療機能不全を克服できる体制をとっています。また、平成25年4月より地域がん診療連携拠点病院に指定され、がん、呼吸器、消化器、泌尿器、がん、がんの5大がんを中心に前立腺がん、胆膵臓がんの5大がん(がん診療連携拠点病院)に指定され、がん診療連携拠点病院に指定されています。研修では、全部署で研修、研修生の教育、研修生の指導、研修生の指導を行っています。また、当院は国立病院機構の一員として、これに積極的に参加して、その成果を地域医療に還元するべく日々努力しています。当科は日立病院の施設に入居し、入居した。医療に必要となる業務を行うことにより、業務の効率化を図っています。また、検査科では、最新の医療の提供のため、正確で確度の高い検査データを提供することに向け、病理診断科と連携を取りながら、チーム医療の発展に努めています。



東海村にある茨城東病院は、水戸市北方10kmの地点にあり、北に日立市、南にひたちなか市の工業都市及び隣接した海浜公園を有する豊かな自然に囲まれた110床(うち100床、診療60床、その他22床)の病院です。敷地は、東京1-ム3層分の広さがあります。当院は、茨城県下の地域医療に貢献するべく活動しています。院内診療科として、院内診療科として、院内診療科として、院内診療科として活動しています。特に、臨床検査科は、検査科長(病理医)1名、検査技師13名、検査助手4名で日々業務を行っています。また、各部署間の連携を取り、アップアップ体制の強化に取り組む、より良い仕事を果たすべく日々努力しています。各個人は、各研修会や勉強会に積極的に参加し、情報を取り入れ、検査科や病院全体に反映できるよう頑張っています。

NHO 茨城東病院小池理事、並びに関係者の皆様方お疲れ様でした

事務局だより

平成27年度国臨協関信支部 茨城地区会役員

松本善信 霞ヶ浦医療センター

平成27年6月6日(土)、国臨協関信支部茨城地区会定期総会に於いて平成27年度の役員が承認されました。本年度事務局を預かることになりました霞ヶ浦医療センターの松本です。

今回発行の「いばコミ」では、水戸医療センターの皆様へ、第43回国臨協関信支部学会(平成27年9月12日)地区会コーナーでは、茨城東病院の皆様にご尽力頂きました。また、11月28日のボウリング大会・懇親会(忘年会)では、霞ヶ浦医療センターの皆様のご協力があり無事に会務を執行することができました。

茨城地区会は、「いばコミ」茨城地区会コミュニケーションの名の如く地区会会員相互の親睦を深めると共に、会員一人一人の知識及び技術の向上を図ることが出来るよう、役員一同力を合わせて活動したいと思います。

今後とも、茨城地区会を宜しくお願い致します。

会 長	児玉 徳志	(霞ヶ浦)
副会長	大川 正人	(水 戸)
副会長	永井 信浩	(茨城東)
事務局長	松本 善信	(霞ヶ浦)
理 事	谷岡 健作	(水 戸)
理 事	小池 勝人	(茨城東)
理 事	矢崎 晴識	(霞ヶ浦)
精度管理委員	福嶋 一成	(水 戸)
精度管理委員	加藤 稔	(茨城東)
精度管理委員	宇都木 健	(霞ヶ浦)
会計監査	仲間 盛之	(水 戸)
会計監査	赤堀 良道	(茨城東)
役員推薦委員	塚原 忠	(茨城東)



新入会員紹介

茨城東病院 永井 信浩



今年の4月1日付けで、国立国際医療研究センター国府台病院より茨城東病院に異動してきました永井 信浩（ながい のぶひろ）です。どうぞよろしくお願ひいたします。

茨城地区会には、30年前にお世話になりとても懐かしく思い出されます。当時は(旧)国立水戸病院に勤務しておりそのころから顔なじみの方々とも地区総会でお会いでき、とてもうれしく感じております。

それではちょっと自己紹介を・・・私の生まれは、茨城県那珂市です。最初の勤務地は現在いる茨城東病院（旧晴嵐荘病院）で賃金職員として採用され、国立水戸病院、横浜東病院（横浜医療センターと統合）、村山病院、沼田病院、災害医療センター、国府台病院にお世話になり、そして今回2度目の茨城東病院の勤務となりました。

今回は、官舎生活による徒歩での通勤で

す。施設の周りは、豊かな自然に恵まれ春はうぐいすの声で起されます。夏は蝉の声、蛇などにお目にかかれます（ちょっと気持ち悪いですが）敷地は、東京ドーム6個分の広さがありますので興味のある方がおりましたら探検をかねて御案内いたします。

趣味は今までいろいろやってきましたが・・・テニス、野球、ゴルフ、釣り、クレー射撃、スキー、賭け事等どれも永続きしません。多分、性格が優柔不断なのかも。いま一番楽しいことといえばハ・マ・ス・タで野球観戦をしながらビールを呑むことでしょうか。

さて現在、私たちの臨床検査科はスタッフ9名で検査を行っており、日々患者サービスの向上やチーム医療の連携強化をめざし、一致団結して臨床検査業務に取り組んでいます。さらにキャリアアップ等人材を育てる環境を整備することや、より良い医療を地域に提供し経営安定に努めることをスタッフ全員で共有しています。そして、それぞれが希望のもてる近未来の臨床検査技師を育てていきたいと考えております。どうぞ茨城地区会のみなさま今後ともよろしくお願ひいたします。



霞ヶ浦医療センター 松本善信



平成 27 年 4 月 1 日付で NH0 西群馬病院から赴任してまいりました松本善信（まつもとよしのぶ）です。

長野県松本市の「松本」、善光寺の「善」、信州の「信」と書きますので、名前から想像できる通り信州育ちですが、生まれは名古屋、一番長く住んでいたのは群馬県高崎市です。ちなみに、名前の由来は信州とはまったく関係ありません。

趣味は、溪流のフライ及びルアーフィッシング、テンカラで、根っからの狩猟民族、肉食系男子です。また、近年では低山トレッキングもしています。西群馬病院時代は、車で 30km を通勤し、その前に勤務していた高崎病院時代は、病院から 2 km に自宅がありますので、車で 5 分程度。転勤をするたびに遠方へ行き、今回は 180km、2 時間のドライブになりました。週末、高崎に帰っても、翌日には同距離を移動するため、他県への遠征釣りやトレッキングに行く元気もなく、もっぱらイメージトレーニングに

費やしていますが、冬季には地元群馬の管理釣り場へ行こうと心に誓っています。

今回赴任後に、大腸憩室炎になり人生初めての入院生活がありました。又、眼鏡にヒビが入るぐらい眼球をぶつけ、網膜剥離の経過観察中であり、前副技師長も眼科領域の手術をしていましたので、現在居住している官舎に何かあるのではなかろうかと疑っています。靈感は全く無いのですが、官舎に帰ると冷（霊？）気があるんです。ということで、健康には人一倍気をつけている毎日です。

最後になりますが、検査科スタッフの温かい支えのもと半年間があっという間に過ぎました。

「百聞は一見に如かず。百見は一考に如かず。百考は一行に如かず。百行は一果に如かず」

いろいろと説はあるようですが、この言葉を胸に、スタッフの為、検査科の為、病院の為に日々精進していきますのでよろしくをお願いします。



霞ヶ浦医療センター 矢崎晴識



はじめまして。4月より霞ヶ浦医療センター研究検査科血液主任に着任した矢崎晴識です。

私の国立病院機構における略歴ですが、国立国際医療研究センター戸山病院で緊急生化学検査を1年3か月担当し、次施設の栃木医療センターでは主に細菌検査を9年担当していました。周囲の支援のお陰で認定微生物検査技師の認定資格も取得できました。

前施設が栃木県で今回茨城県ということで同じ北関東なのですが生活の主体の場が100km程違うとなると完全に新天地という気持ちであり、慣れない地での生活、仕事ともに不安を感じていましたが、児玉技師長、松本副技師長を始め検査科のスタッフの人柄が良い人ばかりで安心して仕事が出来ていることに感謝しています。また、今期の茨城地区総会でお見かけた地区会員の皆様も感じの良い人という印象でしたので安心しました。

執筆依頼内容が自己紹介ということなの

で私が医療で働いている座右の銘を紹介したいと思います。それは『医は仁術』という言葉です。

仁術…というと人に説明しようとしたときにピンとくる言葉が思いつかなかったのでwikipediaで調べた所、『主に他人に対する親愛の情、優しさを意味している』とのことでした。生理検査部門は日々患者さんと接するとは思いますが検体系に従事していると検体量に追われ、患者さんが見えなくなることもあるかと思います。

そんな時、その言葉を思い出し1検体1検体が各々、誰かの大切な人の検体であるということを思い出し、自分を戒め検査業務に従事しています。

霞ヶ浦医療センターでは臨床から求められている技師像になるよう尽力し、かつ自身の銘である仁術を実行できるように努力しますので皆様よろしくお願ひします。

水戸医療センター 大川 正人



平成27年4月1日付で群馬地区(西群馬

病院)から赴任して参りました大川正人(お
おかわ まさひと)です。20 年以上、東京
と埼玉地区に勤務していたので、地区会は
ありませんでした。昨年度まで勤務してい
た、群馬県に勤務してから身近に地区会の
活動が実感できたのを覚えています。今で
は、東京、埼玉、東京山梨、新潟、長野、
群馬、栃木、千葉、神奈川、茨城地区とし
て、昨年度から 10 地区になっています。茨
城地区会の皆様よろしくお願ひ致します。

さて、水戸医療センターに赴任して、あ
っという間に半年が過ぎました。院内宿舎
に入れて頂き、就職してから初めて徒歩で
の通勤と言える程の距離ではない出勤です。
昨年度までは、6 年間、新幹線通勤でした
ので、朝の出勤時間、特に新幹線の発車時
刻には僅かながらにも、緊張感がある毎朝
でした。そんな、出勤時間ともさよならで
す。また、水戸医療の周りには、ご存じの
ように、何もないと言っていい程、何もな
く、食事処さえありません。当然のごとく
夕食は自炊で生野菜が主に並べられる時が
多く、少し体重が落ちてきています。毎年
のメタボ健診には声が掛かっているので、
少し続けてみようかと思っていますが、お
酒の量が増えてきているのが、いささか気
掛りです。この半年、鬱陶しい梅雨と暑い
夏も窓を全開にして乗り切ってきましたが、
さすがに、水戸の冬は寒いと聞いています
のでそろそろ冬支度です。今月中(10 月)に
は暖房器具を買い揃えたいところです。

最後になります今年度は茨城地区会役
員でもありますので、国臨協関信支部から
のご指導を頂きながら茨城地区会員の声に
耳を傾けて、『いばこみ』の名のもとに各施
設間のコミュニケーションを図り、会員の

皆様と共に進んでいきたいと思っております
ので今後とも宜しくお願ひ致します。

水戸医療センター 磯 敬



平成 27 年 4 月 1 日付で、国立精神・神経
医療研究センターから配置換で 7 年ぶりに
戻って参りました、水戸市出身の磯 敬と申
します。7 年前、国立精神・神経センター
に生理検査主任として赴任し、単身赴任生
活を 7 年間経験しました。慣れなかった料
理も覚え、今ではたまに料理をして家族サ
ービスをしております。自宅は荒川沖にあ
り往復 100 キロを車通勤しております。水
戸医療センターは昔に比べてかなり検査件
数が増え忙しい毎日ですが、部下に信頼さ
れる主任として努めてまいりますので今後
とも宜しくお願ひ申し上げます。

趣味は、野球観戦で高校からプロまでよ
く観に行きます。プロ野球は 19 歳の時ファ
ンになってから 25 年もののかかなり熟成さ
れたカープファンです。「茨城なのになぜカ
ープなの?やっぱ、ジャイアンツだっペ
ョ!」とよく言われたものでした。しかし、

当時弱いカープに何か魅かれるものがありました。野村謙二郎前監督、イチローが唯一尊敬していた人物、前田智徳など当時現役で活躍していた選手が大好きでした。

1991年山本浩二監督率いる広島カープはリーグ優勝を成し遂げました。一塁にもヘッドスライディングで向かう機動力野球で優勝した地味なチームが益々好きになりました。しかし、日本シリーズは、西武ライオンズに3勝4敗と負け越し日本一制覇とはなりませんでした。この年を最後にしばらく優勝していませんが、最近のカープは、イケメン選手が多く入団しカープ女子が増えスタンドは赤一色となり、立ったり座ったりのスワット応援など、他のチームに負けない独特の応援で年々ファンが増えています。来年は、メジャーから戻ってきたベテラン黒田投手をはじめ、若手選手のさらなる活躍で25年ぶりの優勝を願い、広島マツダスタジアムでクライマックスシリーズを観に行くのが夢です。

また来年は、私の息子も高校生となり野球部に入る予定です。高校野球、そしてカープ応援にますます熱が入る年になりそうです。長くなりましたが、こんな野球バカではございますが、茨城地区会員の皆様、今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。



水戸医療センター 牛込 雅彦



平成27年4月1日付でがん研究センター中央病院から参りました牛込雅彦（うしごめまさひこ）です。

非常勤・賃金職員の4年半を晴嵐荘病院（現茨城東病院）、正職員になり3年半、霞ヶ浦医療センターで働き、その後、がん研究センター中央病院を経て、9年ぶりに水戸医療センターに主任で戻ってきました。

茨城地区では検査技師になってから8年間お世話になり楽しい思い出がなく、再び戻って来た事を光栄に思っています。

茨城県には、幼少期から家族で遊びに来ていました。夏は那珂川・鬼怒川でアユ釣りをしながらキャンプ生活、冬は那珂川・鬼怒川でカモ猟、筑波山でキジ・ヤマドリ猟をしながらBBQ三昧でした。そのため、自分自身も専門学生時代に散弾銃の所持許可の資格を取得し、クレー射撃に没頭していました。

射撃で銃の操作方法を身に付け、狩猟の資格も取得し、晴嵐荘時代はカモ撃ちをし

てから、出勤することもありました。

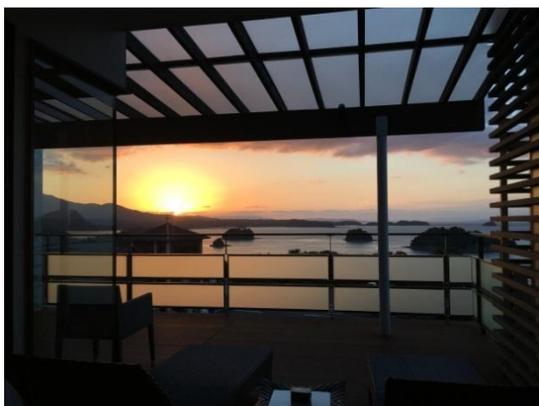
狩猟を始めた当初は、カモやキジなどの鳥類で満足していましたが、親戚に誘われた大物猟（熊・猪・鹿）を経験してからは、鳥類では物足りなくなり、今では大物猟にどっぷりハマってしまい、ライフル銃の所持許可も取得しました。

獲物の足跡を探して後を追ひ、発信機を付けた猟犬を山中に離し、受信機で犬の居場所を確認しながら先回りして、仕留める。この瞬間のドキドキ感は何度経験してもたまりません。

仕事に疲れていても、週末毎のドキドキ感を味わうことで、ストレス発散とエネルギーの補充が来ています。なかなか、射撃や狩猟を経験する機会はないと思いますが、皆さんもストレス発散できる趣味を見つけてみてください。

4月から、生化学・血清検査を担当しています。経験の乏しい分野ですが検査科皆様の指導のもと仕事ができています。

採取された検体を迅速かつ正確に報告し、臨床・患者様から信頼される臨床検査部になるよう、微力ですが頑張っていますので、これからもご指導・ご鞭撻の程宜しくお願い致します。



水戸医療センター 中野 翔



始めまして、千葉医療センターで臨時的任用職員として1年8ヶ月勤務し、平成27年4月1日付で水戸医療センターに採用になりました、中野 翔と申します。出身は札幌で、高校卒業まで実家に住み、それ以降は首都圏に住んでいました。また転勤して茨城県水戸に住むのは初めてです。休日は水戸駅前周辺のお店しか開拓していませんが、時間があれば美味しいお店を少しでも開拓したいです。

趣味は、ドライブと音楽鑑賞です。音楽は主に久石譲の曲を聴きます。休日はドライブをし、北関東の道の駅巡りをしています。ただ雪国出身ですが、雪道は一度も走ったことがないので今度帰省した時に練習がてら走ってみます。また、高校3年間弓道を行っていました。たまに実家に帰省した時に、母校の高校の弓道場で弓を打って礼儀作法を学び、一射入魂で精神統一をしています。また、車が好きで先日は東京モーターショーに行き、好きな車を見たり、乗ったりしました。最近はVolkswagenの排ガス問題が気になりました。

千葉医療センターでは主に生化学、一般検査を主に担当し、採血業務、当日直業務も行っていました。水戸医療センターに4月から9月末までは病理業務、10月から生理機能業務を担当しています。初めて携わっている業務なので、日々の失敗と自分の知識不足を痛感しながらも、採用されてから半年経ちましたが、周りの方の支えの環境の元、日々研鑽しています。

最後になりましたが、検査科の周りのスタッフに支えられ毎日の業務に取り組めることに心から感謝しています。まだまだ未熟で、ご迷惑おかけしますが、少しでも多くのご指導の程よろしくお願い致します。

水戸医療センター 須賀 拓也



平成27年4月1日付で水戸医療センターに新規採用になりました須賀拓也（すがたくや）です。帝京大学の臨床検査学科を卒業した後に国立国際医療研究センター病院の非常勤職員として1年間病理を担当していました。

水戸医療センターでも病理を担当させていただいており、現在細胞検査士の資格取得を目指しつつ努力をしています。細胞診の勉強は難しいですが、業務との両立を上手くできるようにしていきたいと思います。

出身は東京都の荒川区で、水戸に来てから人生初めての一人暮らしをしております。不安はたくさんありましたが、時間を経るごとに少しずつ慣れてきました。また、心優しい先輩方に恵まれて、調子を気遣っていただいたり色々なアドバイスをもらったりして楽しく毎日を過ごしています。

現在の趣味は大学から始めた合唱で、パートは一番低い音を出すベースをやっています。歌ってきた曲は宗教曲や唱歌などが中心で、歌うことの楽しさ、声を合わせることの美しさが忘れられず、大学を卒業した後もまだまだ歌い続けたいと思い、社会人の合唱団に参加しています。高校以前はずっと軟式野球をしていましたが、合唱を始めてからやる機会に恵まれず、最近運動不足を感じてきています。

まだまだ技師としても社会人としても未熟ではありますが、少しでも病院のため、ひいては患者さんのためになれるように、精一杯の努力を積み重ねていきたいと思いますので、これからご指導ご鞭撻頂ければ幸いです。



水戸医療センター 大塚 美咲



4月1日付けで水戸医療センターに採用となりました大塚美咲です。出身は現在水戸医療センターのある茨城県の茨城町です。生まれ育った場所で働けることをうれしく思っています。

高校生まで茨城県で過ごし、東京蒲田にある専門学校入学と同時に上京しました。卒業後は国立病院機構本部総合研究センターデータセンターで2年間非常勤として勤務しておりました。2年間は事務助手として勤務し、毎日パソコンと向き合う日々であったため、検査技師としての業務に就くのは今回が初めてとなります。

趣味は映画鑑賞です。また音楽を聴くことも好きで東京に住んでいたときは職場から近いこともあり、よくCDショップに立ち寄って試聴ばかりしていました。ライブやフェスにも行きます。ひたちなか市で開催されているROCK IN JAPAN FES.には音楽好きな地元の友人たちと毎年行っています。これから新しい趣味も探していけたらと思

っています。

現在は臨床検査科と治験管理室を併任しており、検査科では血液検査を担当し、治験管理室では臨床研究コーディネーターとして勤務しています。どちらの科でも初めて経験することがほとんどで、戸惑うことも多く自分の勉強不足を痛感するばかりですが、温かい先輩方に支えて頂き少しずつ慣れてきました。入職して半年が経ちますが、これからもっと多くの経験を積み重ねて、検査技師としても、臨床研究コーディネーターとしてもより成長していけるよう頑張ります。

最後になりましたが、茨城地区会の皆様、今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

水戸医療センター 磯田将太郎



10月1日から水戸医療センターに採用になりました、磯田 将太郎（いそだ しょうたろう）です。帝京大学卒業後は成育医療研究センターで2年半の間、非常勤職員で

勤務し細菌検査をメインに輸血検査、採血を経験してきました。水戸医療センターに採用されてからは病理検査に配属となり、知識や経験が不足しているため四苦八苦していますが新たな検査に従事することに楽しみを感じています。

出身は東京の墨田区です。水戸に来てからは初めての一人暮らしや東京では全く乗らなかった自動車の運転など不安な事が多くありましたが少しずつ慣れてきました。

趣味はテニスで中学から現在に至るまで続け、今でも大会に出場しています。シングルス、ダブルスどちらも好きですが、自分的にはダブルスの方が得意だと思っています。目標は墨田区民大会のシングルスでベスト 8 に入ることです。しかし化け物みたいに強い大学生や経験豊富な 40 代の方々が立ちほだかりこの秋は目標を達成できませんでした。来年の夏の大会に向けしっかり練習して弱点を克服し、もっと良いテニスができるように頑張っていきたいと思えます。しかしテニス以外の休日の過ごし方を知らないなのでこの水戸の地で新しい趣味を何か見つけていきたいと思っています。

最後になりましたが、まだまだ知識も経験も不足している私ですが水戸医療センターでしっかりと勉強して経験を積み、病院や患者様に貢献できるように努力をしていきたいと思っておりますのでご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひします。

水戸医療センター 谷岡 健作



平成 27 年 1 月 1 日付で国立がん研究センター中央病院より転任してまいりました、谷岡健作（たにおか けんさく）と申します。がん研究センターには 21 年間勤務していました。

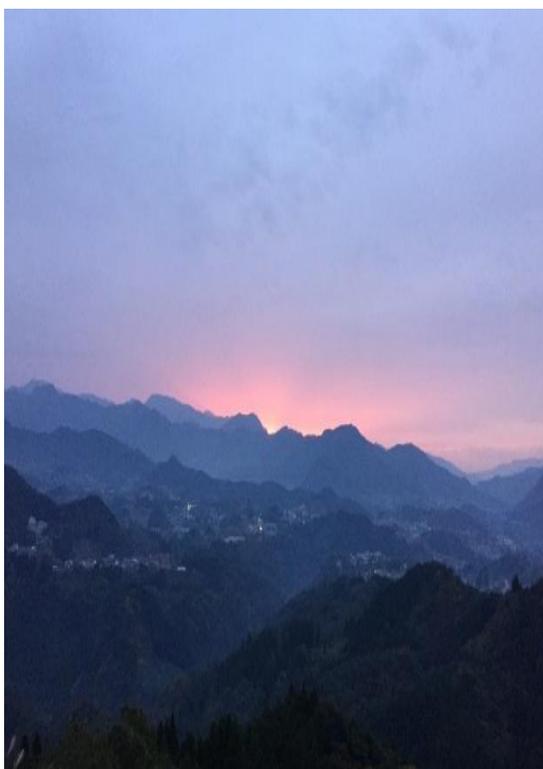
小さいころから東京に住んでいたのも、何もない東茨城郡桜の郷に移って来た当初は、コンビニに買い物に行く事も大変でした。ただ、近所にスーパーが出来たのですが、相変わらず食事や飲みに行くところが有りません。そこで悩んだ末に、なるべく自炊をしようと心掛けました（東京在住の頃からは考えられませんが）。しかし、自分で作る料理（レシピ本等を読んでも）が不味く食欲が湧いてきません。このままでは、かえってストレスを溜めてしまうと思い、美味しい料理や、お酒等を楽しめるお店や、ショップ等を巡って、食事や買い物をし、シェフやスタッフに感謝、感動して、健康的な生活をさせてもらっています。

茨城地区会会員の皆様で美味しい料理、

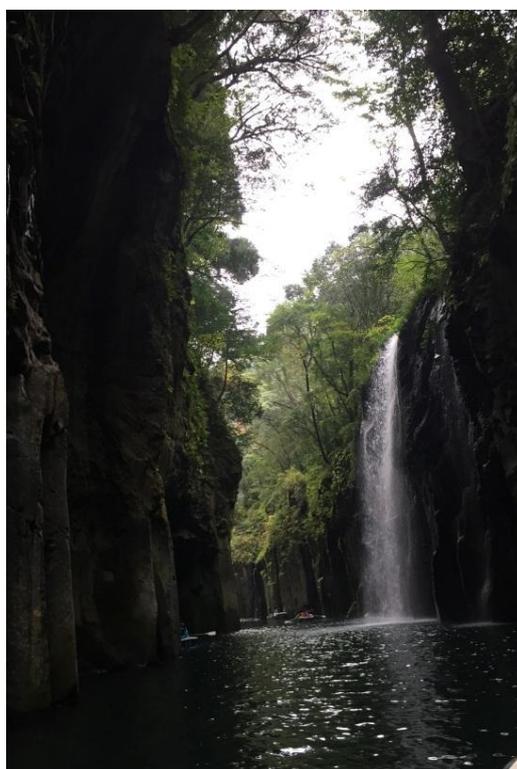
お酒、お店等知っている所が有りましたら、是非教えて下さい宜しくお願い致します。次に仕事の面では、がん専門病院から第三次救急医療等に特化した病院へと職務内容が変わり、様々な対応と変化を求められています。未だ不慣れで皆様方にご迷惑をお掛けしておりますが、水戸医療センターの検査科職員、茨城地区会の会員として、名を汚す事無く、確実に一步でも前進しながら、皆様方に少しでも貢献できるように、自己の能力を最大限発揮し、皆様方と発展した関係性を構築して行きたいと思っております。今後とも宜しくお願いいたします。

編集後記

今年は夏休みを利用して、宮崎県の高千穂神社と、福岡県の大宰府天満宮に神頼みに行ってきました。しかも大宰府天満宮では、お御籤で大吉と何やら良い事ありそうな？もう直ぐ12、1月です。茨城地区会員の皆様方は、今年や来年の対策を立てている人も多いと思います。運試し、厄払い、幸運を見つけに行く事も善し。(桜の郷)



(高千穂にある国見ヶ丘からの朝日と雲海)



(宮崎県、高千穂峡)